

令和6年度 学校評価【遼南高等学校】

生徒育成方針 (グラデュエーションポリシー)				①地域に愛着と誇りを持ち、地域の発展に貢献できる生徒の育成を育成する。 ②自らの課題や目標を設定し、自ら実現に向けて主体的に取り組む生徒を育成する。 ③多様性を認め、協働しながら、課題を解決できる生徒を育成する。 ④自己肯定感、自己有用感が持てる生徒を育成する。				【評価】 A：達成 B：概ね達成(目標値80%以上) C：改善努力必要					
評価計画				検証方法(アンケート等)				学校評価の結果・評価・課題・改善案					
重点 目標	生徒 育成 方針	運営方針	担当	具体的施策	評価指標 (到達したい状況・状態)	目標値	アンケート	R6結果 ※実情の 一部に要 更有	R6結果	校内 評価	反省及び次年度への課題等	学校 関係者 評価	改 善 案
							アンケート内容						
①	総合学科高校としての 魅力化発信	総務	・オープンスクールの充実を生徒・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合			80%	○	オープンスクールにおいて、中学生に総合学科の系列の魅力を保えられたか	-	94.8%	A	総務部の準備から当日の対応、教職員の協力により無事オープンスクールを実施することができた。また、第1回の問題点を検討し、第2回には改善して実施することができた。また、各系列の生徒を先生方に指導していただき、生徒も自信を持って中学生に対応できた。先生方の協力で中学生に魅力を伝えることができた。	中学生にHPなどによる案内、ネットによる申し込みなど、生徒自身で自ら申し込めるように工夫し、各講座の準備など不安や心配を与えないように配慮する。各系列の先生と生徒が日頃の学習内容や進路希望の良さを伝えられるように工夫していただく。中学校と遼南高生が話し合える機会を増や努力をする。
						80%	○	オープンスクールにおいて、生徒が中学生に総合学科の系列の魅力を保えていたか	-	100.0%	A		
	②	生徒の将来を見通したキャリア教育の充実	総合学科 研究	・「1年生」 ・「PBL型ガイダンスや系列授業見学・体験を通して、生徒が主体的に進路目標に応じた系列選択ができるよう体制を強化する。	生徒・保護者・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	あなたは系列・科目選択を自分の目標や興味・関心に合わせて自分の意思で主体的に選択することができたと思いますか。	97.2%	97.3%	A	・2年次からの系列(モデル)選択については、引き続き総探ⅠAを軸に、各系列の先生方の協力を得ながら、計画的に系列体験等を実施することができ、生徒の主体的な自己選択・自己決定に資することができた。・保護者への情報提供についても、適切な時期に行うことができた。	・2年次からの系列(モデル)選択については、引き続き総探ⅠAを軸に、各系列の先生方の協力を得ながら、計画的に系列体験等を実施し、生徒の主体的な自己選択・自己決定を促していく。・保護者への情報提供についても適切な時期に実施する。
						80%	○	お子様は系列・科目選択を自分の目標や興味・関心に応じて、主体的に選択することができたと思いますか。	90.2%	95.1%	A		
	②	生徒の将来を見通したキャリア教育の充実	総合学科 研究	・「2年生」 ・「PBL型インターンシップ」により、生徒が将来を見通したキャリア教育の充実を図ると共に、身近な地域課題解決学習に主体的・協働的に取り組む姿勢を育成する。	生徒・保護者・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	系列・科目選択のためのガイダンス、系列別体験授業、系列別授業見学、履修相談等は、生徒の目標や興味・関心に応じた主体的な選択を実現させるための指導体制として効果的に機能していますか。	96.7%	90.6%	A	・インターンシップが生徒のキャリア教育の推進に効果的であるという評価がある一方で、生徒が探究学習を進めるまでの期間の確保が必要であるという指摘もある。今後はインターンシップの機会も視野に入れつつ、よりよい方法について模索、検討していく必要がある。	・R7年度から2年生のインターンシップを廃止し、これまでインターンシップ期間に充てていた総探Ⅱの時間を探究学習・探究活動の時間に充てる。・生徒のキャリア教育については、オープンスクール一帯の情報を生徒に提供し、代替する。
						80%	○	あなたは「PBL型インターンシップ」を通して、将来を見通したキャリア教育の充実を図ると共に、身近な地域課題解決学習に主体的・協働的に取り組む姿勢を育成することができたと思いますか。	97.3%	97.4%	A		
						80%	○	お子様は「PBL型インターンシップ」を通して、将来を見通したキャリア教育の充実を図ると共に、身近な地域課題解決学習に主体的・協働的に取り組む姿勢を育成することができたと思いますか。	83.3%	88.5%	A		
						80%	○	生徒は「PBL型インターンシップ」を通して、将来を見通したキャリア教育の充実を図ると共に、身近な地域課題解決学習に主体的・協働的に取り組む姿勢を育成することができたと思いますか。	76.7%	56.3%	C		
						80%	○	模範会社「ラッキーローバーカンパニー」が生徒主体で運営され、「遼南高フェア」が学習成果と地域を繋げる取組になっていたと思いますか。	96.7%	95.9%	A		
						80%	○	お子様が「遼南高フェア」に主体的に関わり、学校と地域を繋ぐ取組に貢献できていたと思いますか。	90.2%	88.9%	A		
①	地域と連携した総合学科教育の魅力化推進	総合学科 研究	・学校行事「遼南高フェア」を全学年・全教職員体制で実施し、総合学科高校における地域課題解決学習の成果を包括的に具現化させる。	生徒・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	模範会社「ラッキーローバーカンパニー」が生徒主体で運営され、「遼南高フェア」が学習成果と地域を繋げる取組になっていたと思いますか。	100.0%	96.9%	A	・今年度から全4系列体制となり、新しい名称となった模範会社「ラッキーローバーカンパニー」の下、全学年・全教職員体制で遼南高フェア2024を実施でき、本校における学習成果を包括的に具現化することができた。	・R7年度も引き続き、全学年・全教職員体制で遼南高フェア2025に向けて準備を進め、本校における学習成果の包括的な具現化を目指して取組を進める。	
					80%	○	お子様が「遼南高フェア」に主体的に関わり、学校と地域を繋ぐ取組に貢献できていたと思いますか。	90.2%	88.9%	A			
	②	キャリア教育の充実と推進	進路指導	・進路行事や進路学習の時間を計画的に活用する。 ・進路希望調査・生徒面談・進路検討会等を効果的に利用する。	生徒・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	進路weekや進路ガイダンスなどの進路行事や、進路に関する学びを通して、社会と自分の関わりや将来の自分の生き方、そして進路実現のために今なければならぬことなどについて、考えることができたか。	98.4%	98.2%	A	校内の進路行事や総探等は、計画通り行うことができた。また校外(市役所等)とも協力して活動を行った。次年度以降の行事も計画中で、来年度も新規の校外行事を行う予定である。	・新規で外部関係機関と連携した活動を計画している。この活動も含めて、生徒にとって有意義な進路学習になるよう再考する。
						80%	○	進路行事(進路week・ガイダンス)や補習、面談、小論文指導などを通し、進路選択に必要な知識や態度を育成するための指導支援ができていると思いますか。	96.7%	100.0%	A		
	②	保健委員会活動の充実	保健	健康管理や環境整備・美化活動を、集会や掲示物、放送等と呼びかけする。また、掃除用具の整理・補充を定期的に行う。	生徒・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	保健委員会の活動は、あなたの健康増進や環境整備・美化に対する意識につながっていると思いますか。	96.3%	91.8%	A	・市役所と連携しながら文化祭の展示等をおこなうことで、生徒の健康づくりへの意識を高めることができた。今後も継続的に健康づくりや環境整備に関する活動を行い、より一層意識を高めた。	・健康づくりの意識を高めるために、引き続き市役所と連携した企画について、環境整備については保健委員会で検討していく。
						80%	○	保健委員会の活動は、生徒の健康増進や環境整備・美化に対する意識につながっていると思いますか。	80.0%	81.3%	A		
	④	図書館利用の充実と読書活動の推進	図書情報 研修	・図書資料の活用を充実を図り、図書委員会の活動等を利用して活字に親しむ生徒を育成し、図書館利用を促す。 ・教科指導や総合的な学習の時間の両面にも活用できる図書や環境整備に努める。	生徒・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	本や雑誌・新聞を目にしたり、授業や調べ学習や試験勉強をしたり、放課後の休みの時間、図書館を利用したり、図書館を利用した活動や行事に参加したことがありますか。	76.4%	78.5%	B	生徒の図書館利用は一定数あった。先生方に選んでいただいた本や新聞も図書館にあるので、クロームブックで取り出せない情報や情報量が豊富であることができた。出展図書等の品揃えをアレンジし、全教科から利用してもらえる掛け付けを検討する。カールの利用を促進する。	・クロームブックでは取り出せない情報や情報量が豊富であることを情報入手できる環境があることを背景として、出展図書等の品揃えをアレンジし、全教科から利用してもらえる掛け付けを検討し、カールの利用方法を提案
						80%	○	授業やその他の活動、または図書・資料の検索、貸出等で、図書館を利用できましたか。	63.3%	68.8%	B		
	③	自他の人権を尊重し多様性を認め合う教育の実現	人権教育	・人権に関するホームルーム活動の充実 ・全校講演会の企画および全校集会、便りの内容の充実 ・生徒理解を深めるための教職員研修の実施	生徒・保護者・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	85%	○	あなたは、学校生活の全体を通して、人権感覚をみがくことの大切さを理解し、自他の人権や多様なあり方・生き方を尊重することができたか。	98.0%	98.2%	A	全校講演会・集会、学年別講話、ホームルーム活動といった特別な場面のみならず、日常において、学年会が中心になり生徒に対する働きかけを行うことができた。ホームルーム活動は、生徒の実態に応じた学習内容を検討するなど、柔軟に企画することができている。教職員研修は今年度「学校・福祉連携」をテーマに実施したが、今後も学校と生徒の課題に迫る内容で、工夫して企画していきたい。	・継続して学校全体で人権教育を推進するとともに、ホームルーム活動の充実により生徒の実態に応じたものになるよう工夫していく。 ・講演会や研修は、推進委員会での学校の課題や取り組むべき内容を明らかにしたうえ企画していく。
						85%	○	学校は、人権に関するホームルーム活動を中心に、教育活動の全体を通して、自他の人権を尊重し、多様性を認め合うことができるよう働きかけていますか。	79.8%	87.7%	A		
85%						○	人権に関するホームルーム活動や、講演会、全校集会、便り等の取り組みは、生徒の人権感覚を高め、人権意識を高めるうえで効果的でしたか。	93.3%	93.8%	A			
80%						○	あなたは将来の進路実現に向けて自分の目標や興味・関心に合わせて主体的に考えることができたと思いますか。	97.3%	96.1%	A			
②	将来の進路実現に向けての目標設定の確立	2年学年会	・総合的な探究の時間の授業やインターンシップ等でねらいを確認させつつ、中長期的目標につながるよう進路意識を深めさせる。	生徒・保護者・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	お子様は将来の進路実現に向けて自分の目標や興味・関心に合わせて主体的に考えることができたと思いますか。	89.6%	84.0%	A	・「総探Ⅱ」の学習に進路に関わる学習を入れ、進路目標の設定やその実現に向けて意識することができた。また、生徒達に地域理解を深めることができたが、校内で学習内容や成果を周知する機会等を設けられとる良か。	・系列の先生方との連携を深め「総探Ⅱ」につながる課題や技術の育成をめざす。 ・きめ細やかな面談と情報提供によって、進路実現に向けての学習や行動ができるよう支援する。	
					80%	○	生徒の進路実現に向けてそれぞれの目標や興味・関心に合わせて主体的に考えさせるための指導体制として効果的に機能していますか。	83.3%	78.1%	B			
					95%	○	電話や来校時など、事務室の対応は丁寧だと思いますか。	89.6%	92.6%	B	・目標数値は下回ったが、電話機や高圧ケーブルの更新を行うことができた。 ・支金等制度周知については、学校企画課と情報共有し保護者に周知することができた。	・学校の窓口として、電話や来校者への対応を丁寧に行う。 ・教職員と連携しながら効果的かつ適正な予算執行に努める。	
-	教育施設・設備の充実と円滑な学校運営	事務	・効果的な予算執行による施設・設備の充実 ・支金等制度の周知徹底と申請手続きの支援	保護者・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	95%	○	教職員と連携した効果的な予算執行だと感じていますか。	90.0%	93.8%	B			
					80%	○	あなたは「ICT機器の活用や教材の工夫をすることで、生徒が主体的で対話的な学習活動を行うための授業づくりができましたか。	83.3%	68.8%	B			
②	生徒の成長を促す授業実践の環境整備	教務	・授業実践力の向上 ・ユニバーサルデザイン環境の定着を推進し、落ち着いた授業環境を構築する。	教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	あなたは授業を受けるに際して、先生方から明確な目標が示され、その目標に到達するために努力がされていると感じましたか。また、あなた自身はその目標に取り組むことができたか。	97.6%	96.8%	A	・黒板に「本時の目標」及び「授業の流れ」を記載する取り組みは定着しており、生徒に目標を持たせることが十分できたと考えている。 ・来年度や来年度以降授業内容を振り返ることができるよう、Googleクラスルームの活用等を推進していきたい。	・生徒に目標を持たせて授業に臨ませるために、引き続き「本時の目標」及び「授業の流れ」を明確にした授業づくりをお願いしたい。	
					80%	○	特別支援教育スタッフ会や学年会等を通して生徒の多様性を理解し、配慮した取組をすることができましたか。	83.3%	81.3%	A			
	④	特別支援教育の推進と生徒理解	特別支援教育	・通級指導等を通して日々の生活での困り感を把握し、必要な情報共有先に伝え、よりよい支援策を考える。 ・外部関係とも連携を図り、生徒の自己実現に向けた支援をする。	教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	あなたは、仁心祭等の学校行事を通して、主体的に取り組む、達成感ももてましたか。	98.2%	98.2%	A	・仁心祭では、予定変更の中で生徒が自分たちでできることを考え実施できた。 ・様々な行事において生徒は積極的な意見を言えたり取り組むことができた。 ・新しい取り組みを模索しながら実施することが必要である。	・生徒会を中心に生徒が主体的に活動ができるように取り組ませる。
						80%	○	仁心祭等の学校行事を通して、生徒が主体的に取り組む、達成感ももてるように生徒を支援しましたか。	91.4%	92.6%	A		
	②	自己実現に向けて主体的に取り組む態度の醸成	生徒指導	・生徒主体で達成感ももてる生徒会活動を実施する	生徒・保護者・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	あなたは、仁心祭等の学校行事を通して、主体的に取り組む、達成感ももてるように生徒を支援しましたか。	91.4%	92.6%	A	・仁心祭では、予定変更の中で生徒が自分たちでできることを考え実施できた。 ・様々な行事において生徒は積極的な意見を言えたり取り組むことができた。 ・新しい取り組みを模索しながら実施することが必要である。	・生徒会を中心に生徒が主体的に活動ができるように取り組ませる。
						80%	○	仁心祭等の学校行事を通して、生徒が主体的に取り組む、達成感ももてるように生徒を支援しましたか。	91.4%	92.6%	A		
	②	生徒が安心・安全な生活を送れる寄宿舎運営	寄宿舎	・寄宿舎内の環境美化に取り組む。 ・外部関係の方と情報共有し、生活・生徒指導を徹底する。	教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	あなたは、仁心祭等の学校行事を通して、主体的に取り組む、達成感ももてるように生徒を支援しましたか。	91.4%	92.6%	A	・仁心祭では、予定変更の中で生徒が自分たちでできることを考え実施できた。 ・様々な行事において生徒は積極的な意見を言えたり取り組むことができた。 ・新しい取り組みを模索しながら実施することが必要である。	・生徒会を中心に生徒が主体的に活動ができるように取り組ませる。
						80%	○	あなたは、仁心祭等の学校行事を通して、主体的に取り組む、達成感ももてるように生徒を支援しましたか。	91.4%	92.6%	A		
						80%	○	あなたは、仁心祭等の学校行事を通して、主体的に取り組む、達成感ももてるように生徒を支援しましたか。	91.4%	92.6%	A		
						80%	○	あなたは、仁心祭等の学校行事を通して、主体的に取り組む、達成感ももてるように生徒を支援しましたか。	91.4%	92.6%	A		
②	自己理解の促進と、他者を尊重する心の育成	1年学年会	「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を中心に自己理解に基づいて自己実現と系列選択ができるよう支援する。	生徒・保護者・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	「産業社会と人間」「総合的な探究の時間ⅠA」の授業や担任の先生との面談に道義意識を持て、進路希望や目標に合った系列選択をするための有効な手立てとなりましたか。	97.8%	96.0%	A	・素の規律(素生心)を守れなかった生徒がいたり、生活リズムが自己中心的な生徒もいたりしたが、個別に指導した。また、素生との面談を通して、不安や不満を聞き、安心して生活が送れるように個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	・普段から素生の言葉かけをして素の様子を聞き、必要があれば面談を通して個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	
					80%	○	学校は、お子様自身が強みや適性に基づいて希望の進路や目標に合った系列選択をするための十分な支援をしていましたか。	84.4%	94.7%	A	・探究活動の時間を通じて、分教室との交流・系列・科目選択の機会を確保し、必要に応じて個別指導や全体指導を行い、よりよい生活を送れるように個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	・探究活動の時間を通じて、分教室との交流・系列・科目選択の機会を確保し、必要に応じて個別指導や全体指導を行い、よりよい生活を送れるように個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	
					80%	○	「産業社会と人間」「総合的な探究の時間ⅠA」の授業や個人面談は、生徒に進路意識を持たせ、進路希望や目標に合った系列選択をするための有効な手立てとなりましたか。	93.3%	93.8%	A			
					80%	○	学年集会や個別面談は、あなたのやる気を高め、進路実現につながるような成長のきっかけを与えてくれるものとなりましたか。	98.8%	100.0%	A			
②	個々の進路実現に向けた指導の徹底	3年学年会	・面談を通じて生徒理解を深め、家庭等とも連携を密にしながら個々に応じた指導・支援を充実させる。 ・学年集会や進路集会において、迅速かつ適切な情報提供を行う。	生徒・保護者・教職員アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	80%	○	保護者進路説明会、保護者面談や学年通信・学級通信などの便りは有効な情報提供となっており、お子様の進路実現につながっていますか。	92.2%	100.0%	A	・学年集会として、概ね生徒の実態を把握し、適切な指導・助言を行うことができた。次年度に向けては、より円滑な指導・助言を行うために、必要に応じて生徒理解や保護者面談を重ね、生徒の実態を把握し、必要に応じて個別指導や全体指導を行い、よりよい生活を送れるように個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	・生徒を多面的・多角的に把握し、適切な指導・助言を行うために、学年集会や進路指導だけでなく、来年度や部活動担当者とともに、随時情報を共有する。	
					80%	○	全体・個別指導などの学年会における取り組みは、生徒の実態を把握し、進路実現や社会人としての基礎力を培うにふさわしいものでしたか。	96.7%	93.8%	A			
					80%	○	あなたは、仁心祭等の学校行事を通して、主体的に取り組む、達成感ももてるように生徒を支援しましたか。	91.4%	92.6%	A			
					80%	○	あなたは、仁心祭等の学校行事を通して、主体的に取り組む、達成感ももてるように生徒を支援しましたか。	91.4%	92.6%	A			
グランドデザインに関わる	実績・資格	A指標	新規高卒者の就職率	100%	100%	97.1%	B	・生徒一人一人の希望や適性に寄り添った支援と指導を継続しており、今年度の目標達成を目指している。	84.1%	94.1%	A	・売り手市場の中で昨年よりさらに県内就職が増加したこと、生徒が地元での期待と貢献意識の表れと考える。引き続き地元企業との連携を充実させたい。	・今後とも担任との面談や進路希望調査等から早めに生徒の希望や傾向を把握し、必要で情報を提供しながら面談を重ね、進路決定までの準備を提案を進める。
	系列の学びを活かした進学・就職者の割合	40%	52.5%	32.9%	B	・内訳は進学45.0%(A)、就職17.1%(C)であった。より高い専門性の習得を目指した進学に系列の学びが活かされている。就職は柔軟な対応力も求められ、総合学科の多様な学びから幅広い分野への選択ができていてと感じる。	・生徒が校外の方と関わったことで学びを深められたり自身が成長できたことを、学習活動の振り返りや中などの広報物で確認できるようにしていく。						
								主体性	生徒アンケートにおいて「A」「B」と回答した割合	90%	○	— 自らすすんで、学習に取り組むことができましたか。	95.1%
	協働性	90%	○	— わからないことを友人や先生に聞いたりして、解決しようとしたか。	96.7%	95.0%	A			・素の規律(素生心)を守れなかった生徒がいたり、生活リズムが自己中心的な生徒もいたりしたが、個別に指導した。また、素生との面談を通して、不安や不満を聞き、安心して生活が送れるように個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	・生徒が多面的・多角的に把握し、適切な指導・助言を行うために、学年集会や進路指導だけでなく、来年度や部活動担当者とともに、随時情報を共有する。		
			探究性	90%	○	— 人の話をよく聞き、話し合いなどに熱心に参加できましたか。	98.8%	95.9%	A	・素の規律(素生心)を守れなかった生徒がいたり、生活リズムが自己中心的な生徒もいたりしたが、個別に指導した。また、素生との面談を通して、不安や不満を聞き、安心して生活が送れるように個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	・生徒が多面的・多角的に把握し、適切な指導・助言を行うために、学年集会や進路指導だけでなく、来年度や部活動担当者とともに、随時情報を共有する。		
	社会性	90%			○	— 授業やクラス、部活動などで自分の役割を果たすことができましたか。	98.0%	96.3%	A	・素の規律(素生心)を守れなかった生徒がいたり、生活リズムが自己中心的な生徒もいたりしたが、個別に指導した。また、素生との面談を通して、不安や不満を聞き、安心して生活が送れるように個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	・生徒が多面的・多角的に把握し、適切な指導・助言を行うために、学年集会や進路指導だけでなく、来年度や部活動担当者とともに、随時情報を共有する。		
			90%	○	— 疑問に思ったことを自分で調べることができましたか。	92.3%	93.2%	A	・素の規律(素生心)を守れなかった生徒がいたり、生活リズムが自己中心的な生徒もいたりしたが、個別に指導した。また、素生との面談を通して、不安や不満を聞き、安心して生活が送れるように個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	・生徒が多面的・多角的に把握し、適切な指導・助言を行うために、学年集会や進路指導だけでなく、来年度や部活動担当者とともに、随時情報を共有する。			
	90%	○		— 自分の意見をまとも発表できましたか。	87.0%	93.2%	A	・素の規律(素生心)を守れなかった生徒がいたり、生活リズムが自己中心的な生徒もいたりしたが、個別に指導した。また、素生との面談を通して、不安や不満を聞き、安心して生活が送れるように個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	・生徒が多面的・多角的に把握し、適切な指導・助言を行うために、学年集会や進路指導だけでなく、来年度や部活動担当者とともに、随時情報を共有する。				
		90%	○	— 学校の決まりや社会のルール・交通ルールを守って生活できましたか。	98.4%	98.2%	A	・素の規律(素生心)を守れなかった生徒がいたり、生活リズムが自己中心的な生徒もいたりしたが、個別に指導した。また、素生との面談を通して、不安や不満を聞き、安心して生活が送れるように個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	・生徒が多面的・多角的に把握し、適切な指導・助言を行うために、学年集会や進路指導だけでなく、来年度や部活動担当者とともに、随時情報を共有する。				
90%	○		— 地域の行事やボランティア活動に参加しましたか。	59.8%	74.0%	B	・素の規律(素生心)を守れなかった生徒がいたり、生活リズムが自己中心的な生徒もいたりしたが、個別に指導した。また、素生との面談を通して、不安や不満を聞き、安心して生活が送れるように個別指導や全体指導をし、外務部とも連携しながら、概ね目標は達成できた。	・生徒が多面的・多角的に把握し、適切な指導・助言を行うために、学年集会や進路指導だけでなく、来年度や部活動担当者とともに、随時情報を共有する。					
	高校の魅力につながる教育活動やそれに関わる大人(地域)の増	魅力化アンケートの学習環境の4領域の結果が4領域とも3以上	75%	—	—	75%	—	—	・社会性は目標値を下回った。外部関係や非常勤講師の協力も得ながら積極的に地域に力をつけて学習活動に取り組む環境ではあるが、生徒自身に意欲が伴っていない状況を改善する必要がある。	84.1%	94.1%	A	・生徒が校外の方と関わったことで学びを深められたり自身が成長できたことを、学習活動の振り返りや中などの広報物で確認できるようにしていく。
地域を支える人材の増加													